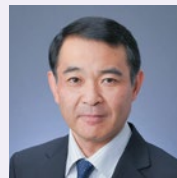


外科

# 呼吸器外科



診療科WEB



外来担当医表

TEL 022-717-7877(外来)

完全予約制

科長 岡田 克典

呼吸器外科は、肺、縦隔、胸壁などの胸部疾患のうち、外科的治療を要するものを対象とする診療科です。

肺癌診療においては、4cm程度の皮切で行う完全胸腔鏡下肺切除術(いわゆるcomplete VATS)またはロボット支援下肺切除術を基本術式として手術の低侵襲化を進めています。当科において2010年から2014年までの5年間に切除術が施行された383例の非小細胞肺癌症例の5年生存率は、病理病期IA期で91.8%、IB期で76.9%、IIA期で81.2%、IIB期で75.9%と良好です。縦隔腫瘍手術においてもcomplete VATSまたはロボット支援下手術を取り入れ、できるだけ負担の少ない手術を目指しています。

また、当院は全国に11施設ある肺移植実施施設の一つに認定されており、2000年の本邦初となる脳死肺移植以来、2022年12月までに160例の肺移植(脳死肺移植:144例、生体肺移植:16例)を実施しました。呼吸不全に苦しむ多くの患者さんが社会復帰を果たしています。肺移植後の5年生存率は約75%と、世界的にみても良好な成績が得られています。

## 主な対象疾患

胸部疾患(心臓・大血管疾患以外)のうち手術適応となるものが呼吸器外科の対象疾患です。  
肺癌:臨床病期I~II期とIII期の一部の患者さんが切除術の対象となります。それ以上進行した病状の場合には、呼吸器内科と相談の上で診療を進めます。/転移性肺腫瘍/縦隔腫瘍/胸壁腫瘍/悪性胸膜中皮腫/気胸/膿胸/胸部外傷/気道異物/重症筋無力症(拡大胸腺摘除)/慢性進行性肺疾患(肺移植):肺高血圧症、特発性・二次性間質性肺炎、肺気腫、造血幹細胞移植後肺障害、気管支拡張症、リンパ脈管筋腫症などが主な対象疾患です。60歳未満が対象です。